



▲愛の小径



▲詩碑



▲彫刻の丘



▲ふれあいの広場



▲智恵子記念館



智恵子の杜公園

智恵子が愛してやまなかつたふるさと安達

智恵子が光太郎とともに阿武隈川を眺めた鞍石山は「智恵子の杜公園」として整備され、二人の純愛の世界に触れることができる場所となっています。光太郎の詩集「智恵子抄」の中の「樹下の二人」―あれが阿多羅羅山、あの光るのが阿武隈川。ここはあなたの生まれたふるさと、あの小さな白壁の点々があなたのうちの酒庫の一節を刻んだ詩碑のある「詩碑の丘」、二人が手を取り合っ

て歩いた「愛の小径」、様々な彫刻が配された「彫刻の丘」、さらに展望台や広場などもあります。かつて光太郎と智恵子の純愛をはぐくんだ道には、今は家族連れや恋人達が集い、やさしい時間を過ごしています。

智恵子の豊かな感性にふれてください

家の裏手には、酒造をイメージして造られた「智恵子記念館」があります。ここには智恵子の作品の数々が展示されており、その人生の軌跡とともに智恵子の豊かな感性を静かに伝えていきます。